



中島 章博 Akihiro NAKAJIMA -Direttore d'orchestra-

Japan Traditional Orchestra (JTO) 指揮者。早稲田大学理工学部、東京大学大学院工学系研究科修士課程を経て同博士後期課程へ進学した後、2007年よりオーストリア共和国立ザルツブルク・モーツァルテウム大学指揮科に留学。2010年に帰国後、博士後期課程を修了し建築音響工学の分野で博士（工学）を取得。これまでに日本はもとより、オーストリア、チェコ、リトアニア、エストニア、ブルガリア、ロシア、マレーシア等で各国のオーケストラを指揮する。また、他業界との共演も多く、2015年、TBSテレビ「マツコの知らない世界」にてオーケストラのパーカッション奏者として加わったマツコ・デラックス氏との共演や、2023年にお笑い芸人「メンバー」のオーケストラ演奏付きライブに出演、2024年には東儀秀樹氏と共演するなど、幅広い活動を行っている。近年は作曲・編曲活動にも力を入れており、群馬テレビ制作のアニメーション「戦隊ヒーロー スキヤキフォース」の音楽を担当したほか、ベネッセコーポレーションの教材付録DVDや、はごろもフーズのウェブCMに楽曲提供を行った。また、オーケストラ作品では、2025年1月にオマーンの首都マスカットにて、「さくらさくら」の主題を用いた「さくらさくら～日本の四季～」が初演されている。編曲作品では、2021年にサントリーホールにてズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団の演奏により狂詩曲「おさるのかごや」が演奏され、好評を博し2022年にも再演、2024年にはライブ演奏のDVDが販売された。そのほか2024年は森口博子氏、小林幸子氏、五木ひろし氏、May J.氏などに、2025年はLittle Glee Monster、小柳ゆき氏などにオーケストラ編曲を提供している。指揮を故クルト・レーデル、デニス・ラッセル・デイヴィス、ホルヘ・ロッター、曾我大介、シメオン・ピロンコフの各氏に、フルートを湯川和雄、岩佐和弘の両氏に師事。2021年度ズーラシアンプラスお友達プレイヤー（指揮）。



松浦 友香 Matsuura YUKA -Soprano-

千葉県出身。東京音楽大学声楽演奏家コース卒業、同大学院オペラ科修了。第19回日本演奏家コンクール 大学生の部 第3位。大学在学中、オーディションにより選拔され、奨学生として英国ギルドホール音楽院の短期プログラムを修了。二期会オペラ研修所 第65期マスタークラス修了、修了時に優秀賞を受賞。大学院オペラハイライト『夕鶴』つう役、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ役で出演。歌劇団Kamite公演『道化師』ネッダ役でオペラデビューを果たす。その後、ジュネーヴ大劇場との共同制作による二期会オペラ劇場『トゥーランドット』リュウ役アンダースタディ、文京区民オペラ『椿姫』ヴィオレッタ役カヴァーなどを経て、2024年11月さわかみオペラ芸術振興財団、南魚沼公演『椿姫』にてヴィオレッタ役を演じる。2025年は二期会オペラ劇場『さまよえるオランダ人』ゼンタ役カヴァーを務めるなど、オペラを中心に活動の場を広げている。二期会会員。



山川 真奈 Mana YAMAKAWA -Mezzo Soprano-

東邦音楽短大を首席で卒業後、東京音楽大学大学院声楽科オペラ研究領域、またイタリアにてヴェローナE.F.ダッラーバコ国立音楽院第二課程修了。読売新聞社主催第78回新人演奏会に出演。2015年に渡伊後イタリアにて研鑽を積む。2019年にはイタリアのリヴォルノ・ゴールドーニ歌劇場「蝶々夫人」スズキにてヨーロッパデビューを果たす。その他イタリアと日本において「カルメン」タイトルロール、「アイーダ」アムネリス、「椿姫」フローラ、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、「ザネット」タイトルロール、「友人フリッツ」ベッペ「修道女アンジェリカ」公爵夫人、「魔笛」第三の侍女等、国内外問わず様々なオペラに出演し、好評を博す。ゴールドーニ歌劇場主催マスカニアカデミー修了。2023年には、帝国ホテル ジ・インペリアルオペラ／藤原歌劇団公演「カルメン」タイトルロールに抜擢された。藤原歌劇団本公演では「ファウスト」マルト、「ロメオとジュリエット」ステファノを好演した。藤原歌劇団団員。



後田 翔平 Shohei USHIRODA -Tenore-

愛媛県西条市出身。東京音楽大学卒業。第44回イタリア声楽コンコロソ第1位ミラノ大賞受賞。2017年度よんでん芸術文化奨励賞受賞。2018年度公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団イタリア留学助成金奨学生。2014年に渡伊。パルマ国立音楽院アッリーゴ・ボーイトを経て、2016年にモデナ市立歌劇場研修所修了。ミレツァ・フレニニ女史のもと研鑽を積む。同劇場よりディプロマを授与される。2017年にモデナ市立歌劇場において、歌劇「ジャンニ・スキッキ」のリヌッチョ役にてデビュー後、クロアチア国立歌劇場、オリムピコ歌劇場（ヴィチエンツァ）、ブッチーニ音楽祭（トッレ・デル・ラーゴ）をはじめ様々なオペラに出演。またモナコ公国モンテカルロにおけるロッシーニ作曲「小荘厳ミサ」や、イタリア・ルッカのサン・マルティノー大聖堂におけるブッチーニ作曲「グローリア・ミサ」のソリスト等もつとめる他、様々な国においてソリストとして出演を重ねている。Youtubeチャンネル【リリカ兄弟】においても活動中。



黒田 彰 Akira KURODA -Britono-

東京生まれ。中央大学法学部、武蔵野音楽大学・同大学院、文化庁オペラ研修所修了後、リサイタル、新国立劇場等のオペラに出演。2002年米国インディアナ大学・ハーバード大学客員研究員として開催したリサイタルは両校の図書館に収蔵された。その後日本・世界の被災地に心を寄せ演奏を続けた。新型コロナ期には医療従事者への感謝と、闘病する方々に心を寄せ歌い続けた。第九関連では、東京立川にて一橋大学第九演奏会（バリトンソロ）、池袋サンシャイン9周年記念演奏会（バリトンソロ）（1993）、東久留米市新市庁舎完成記念演奏会（4楽章のみ）（指揮）（1997）、渋谷区民第九（1993 - 2011年）、東久留米市民第九（1995 - 1998）（各初心者講座担当）。2024年12月東京中野にて異文化アカデミー主催第九4楽章のみピアノ伴奏で歌唱した。本年12月6日には、すぎなみde第九（東京杉並公会堂大ホール）にてバリトンソロとして出演予定。武蔵野音楽大学准教授を経て、現在、同大声楽コース非常勤講師、東京二期会代議員、米国声楽教育者協会正会員

伊予管弦楽団

愛媛にゆかりのある音楽愛好家たちによって、2020年に結成されたアマチュアオーケストラ。現在110名ほどのメンバーが在籍。各々の年齢や性別、職業、そのバックボーンなど様々だが『《再現芸術》としての音楽の魅力に強く惹かれ、夢中になっている』という共通点で繋がっている。松山にて年に一度の定期演奏会を開催しており、2025年に行った第3回定期演奏会ではNHK交響楽団 首席ホルン奏者、今井仁志氏と共演。西条市で行われている第九演奏会では2023年より管弦楽を担当し本年で3回目。2024年には西予市城川町からの依頼により出張コンサートを開催するなど愛媛県内各地で演奏活動を行っている。愛称「いよかん」。

西条第九合唱団

西条第九演奏会のために結成した特別合唱団。地域に根ざした音楽文化の発展を目指し、年に一度の「第九」演奏会を通じ、音楽の力で人と人との心をつなぎ、世代や経験を超えて共に響き合う喜びを分かち合うべく練習を重ねている。団員は10代からシニア世代まで幅広く、未経験者や初心者も歓迎しており、音楽を通じて新たな自分に出会える場となっている。合唱団指導はNHK全国学校音楽コンクール等で市内中学校を数多く全国大会へと導いてきた磯田子氏が担当。